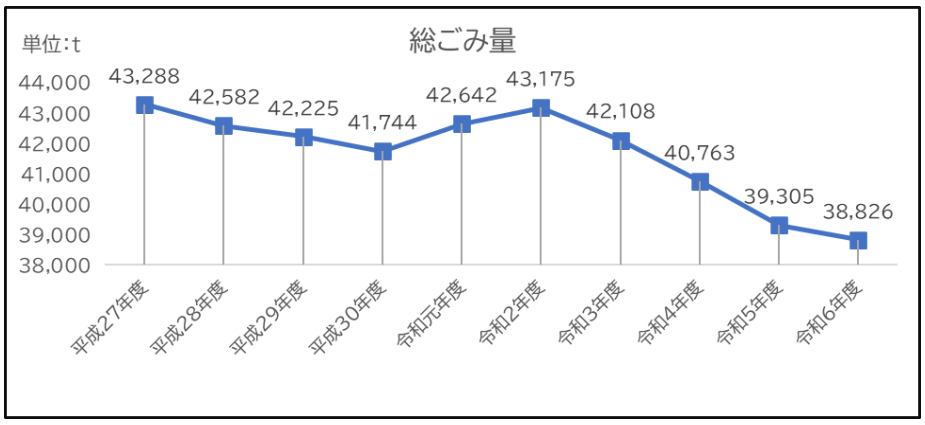
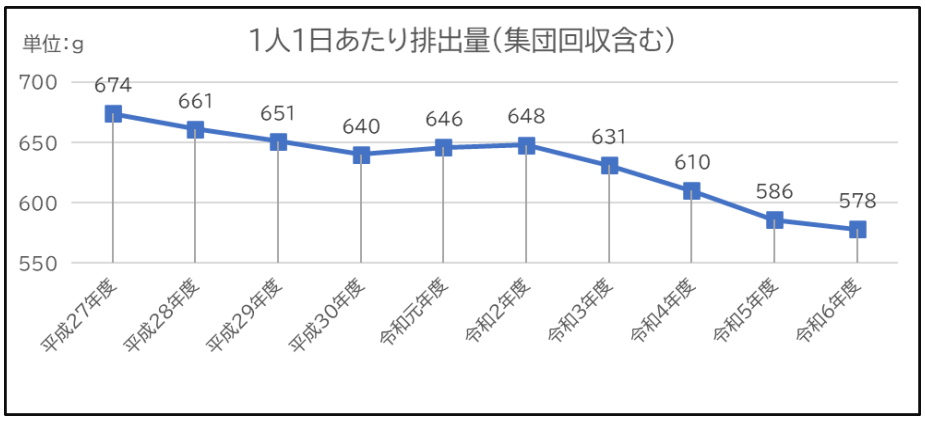
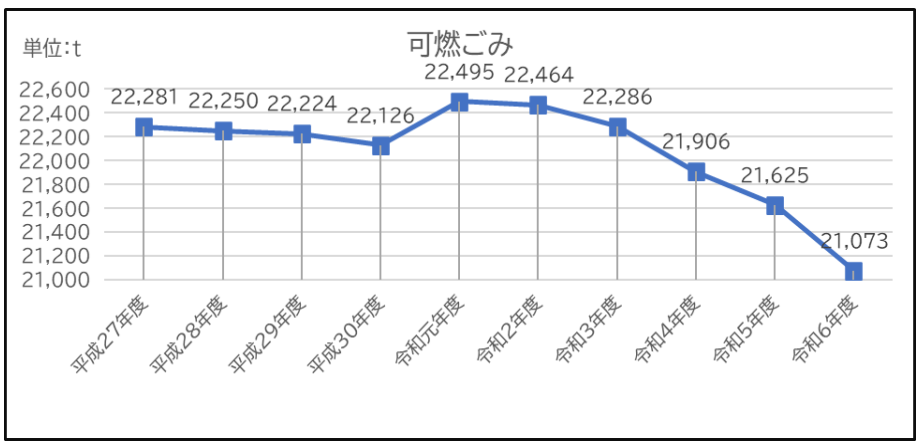
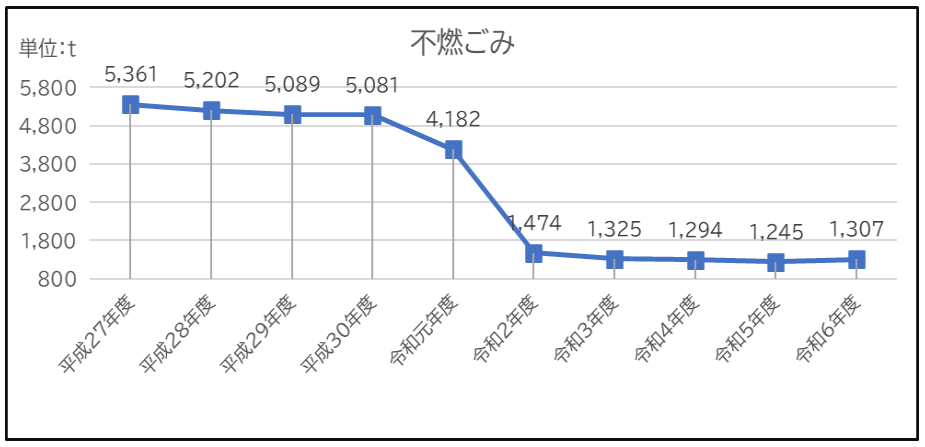
ごみ量の10年推移（H27～R6）

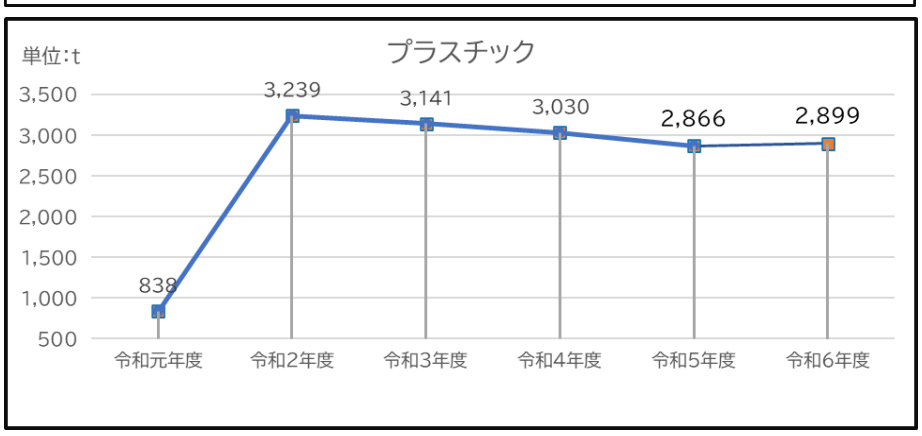
資料2

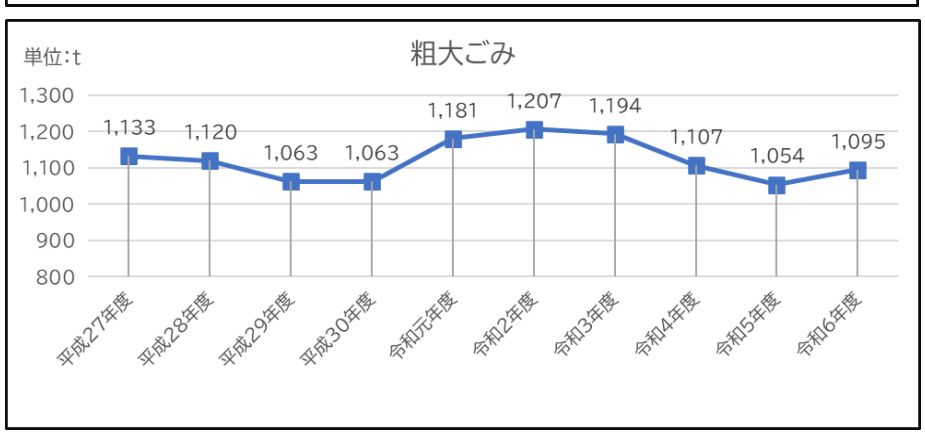


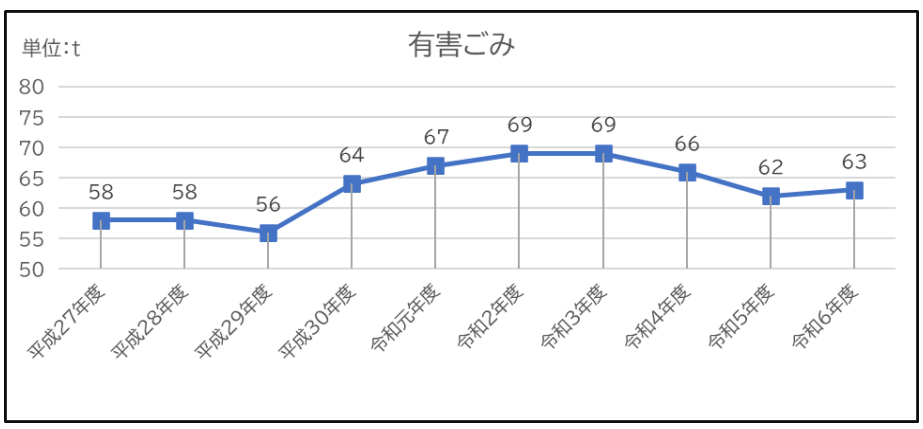


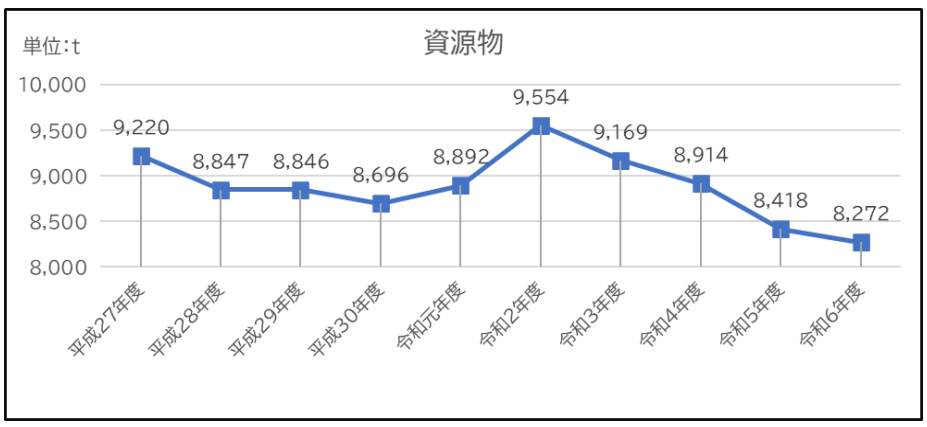












【総ごみ量】
◆人口の微増傾向が続く中、令和3年度以降、順調に減少となっています。
（R2:186,992人、R3:187,293人、R4:187,391人、R5:187,501人、R6:188,244人）

【1人1日あたり排出量】
◆令和6年度も前年度と比較し減少となり、平成12年のごみ改革以降、最少値を達成
※環境省は令和7年3月に、令和5年度（2024年度）における全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査結果を発表し、日野市は人口10万人以上50万人未満の市町村で、「1人1日当たりのごみ排出量」が2年連続全国1位の少なさとなりました。

【可燃ごみ】
◆日野市内の人口が微増傾向に関わらず、年々減少へ
◆ただし、令和元年度及び2年度は、コロナ禍の巣ごもり需要に伴い一時的に増加

【不燃ごみ・プラスチック・粗大ごみ】
◆前年度と比較し、増加の結果となりました。（特段の増加要因は見当たらず）

【資源物（缶やペットボトル等）※集団回収は含んでおりません。
◆令和3年度以降、減少の一途となっております。